

令和6年度 事業報告書

障害児通所支援 みによん

生活支援に関する事業

実施事業名	実施月	実施状況		主な実施内容	結果	
		参加人数	実施回数			
A 日 中 活 動	室内活動	全年	全員対象	毎日	一人ひとりの子どもの欲求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。	宿題や製作活動、リズム遊びを楽しんでいた。毎月、行われるお誕生会では、集団で楽しむことができるゲームを楽しんだ。
	室外活動	全年	全員対象		近隣の公園や海洋博物館、公共の施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康増進を図る。	近隣散策や公園遊びでは公の場所でのマナーを学んだり、運動遊びを取り入れ健康増進につながった。
	製作活動	全年	全員対象	月1回	手・指先を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げていく。	父の日や母の日にちなんで、プレゼント製作を行った。喜んでくれたことや、プレゼントを使ってくれたことを嬉しそうに話す子もいた。また、季節に合わせて室内の装飾作りも行った。
	ミュージックケア	全年	全員対象	月1回	音楽の特性を利用して、心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに、運動感覚や、知的昨日の改善を促し、心身と生活に望ましい変化を与える。	音楽を聞きながら、楽器をならしたり、動作をすることで集中力を養うことができた。また、複数の児童が触れ合いながら行うことでコミュニケーションスキルも高まり楽しく参加できた。
	えいごでFUN	全年	全員対象	月2回	英語の音楽に合わせて体を動かしたり、ゲームを取り入れて楽しく英語を学ぶ。	歌やゲームを通して、楽しく英語を学ぶことができた。言葉で表現することが難しい利用者も講師の真似をして単語を発する等、「聞く」「話す」のトレーニングに繋がった。
	美化活動	全年	全員対象	月1回	花壇の整備、草むしり、窓ふき等、環境美化活動を行う	意欲的に取り組む利用者も多く、活動を通して物を大切にすることや清潔に対する意識向上につながった。
	キッズヨガ	全年	全員対象	月2回	心と身体両方に作用するヨガを通して健康な身体を作ると同時に、精神の落ち着きを得ることで自己肯定感などを高め、豊かな人間性を育成することを目的に行う。	様々なポーズをすることで、体幹が鍛えられ姿勢を正すことや集中力を高めることに繋がった。
	フラ体操	全年	全員対象	月1回	フラダンスをベースとした体操で脳の活性化、健康促進を目的に行う	親しみのある曲では、歌を口ずさみながら踊りを楽しむ様子が見られた。
	えいごでFUN	全年	全員対象	月2回	英語の音楽に合わせて体を動かしたり、ゲームを取り入れて楽しく英語を学ぶ。	歌やゲームを通して、楽しく英語を学ぶことができた。言葉で表現することが難しい利用者も講師の真似をして単語を発する等、「聞く」「話す」のトレーニングに繋がった。

A 日 中 活 動	リトミック	通年	全員対象	週1回	楽しく音楽と触れ合いながら、基本的な音楽能力を伸ばすとともに、身体的、感覚的、知的にも、子どもたちが個々に持っている潜在的な基礎能力の発達を促していく。	ピアノの音の聞き分けて、体を動かしたり、拍子を感じながらリズムを打てるようになった。また、ドレミマツやハンドベル等の楽器を使用し、演奏することを楽しんだ。
	ワークアウト	通年	全員対象	体操教室 (年4回程度) 運動遊び・体幹トレーニング 週1回	楽しく体を動かすことで、走る・転がる・飛び跳ねる・渡るといった基本的な動作を養い、体の動きをコントロールすることで、苦手の動作や不器用さの改善を図る。	いろいろな動きをすることで苦手だった動作ができるようになり、体力の向上にも繋がった。
	スヌーズレン	通年	全員対象	通年	聴覚・視覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使って、トータルリラクゼーションの心地よい空間を提供する。	各自が自分の心地よい過ごし方で過ごしていた。気持ちの安定を図るスペースとして活用することもあった。
B 各 種 療 法	療法的な音楽の時間	通年	全員対象	月1回	いわき音楽療法研究会MusicForestのご協力のもと、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする中で心や体を刺激し、生活向上と機能回復を目的とする。	保護者や利用者からの参加希望が多く、月1回のお楽しみイベントをし喜んで参加する姿が見られた。様々な楽器に触れることができ、自分の順番が回ってくると笑顔で楽器をならしていた。
	陶芸療法	6月	全員対象	年1回	粘土を捏ねたり、握ったりする作業から、手指の発達を促す。子供たちの創造性を育み、作ることの楽しさや喜びを体験する。	自分で考え、好きな動物やキャラクターを作った。色塗りまで丁寧に仕上げることができた。
	遊戯療法	通年	全員対象	通年	遊びを通して、自らの問題状況や、言語化できない感情を表現することを目指す。	遊びの中で、能動的に表現できるよう職員と信頼関係を築き安全な遊びの場であることを知らせた。また、遊び方やどのような玩具を使っているか子供の成長の指標となった。
C 療 育	SST (社会生活技能訓練)	通年	全員対象	通年	人との関わり・行動をより適切に効果的に行うことができるよう社会的スキル訓練を行う。また、学習理論(行動理論)に基づく技法を用いて体系的、意図的に対象者の技法形成を図る構造化された方法で本人の強さを引き出す。	外出先にマナーや遊びの中でのルール等、教材やロールプレイで学んだ後、実際に体験することで更に学びを深めた。その他、ソーシャルストーリー等を用いて、個々の分かりやすい内容でSSTを行った。
	TEACCH	通年	全員対象	随時	周囲の状況を自分の力で理解し、自分に必要な情報を選び出し、適切な行動ができるよう障害や能力に合わせて構造化した環境を整え視覚的支援をする。	全体スケジュールの提示の視覚的構造化、わかりやすく環境を分ける物理的構造化を行った。発達段階に合わせて個別スケジュールも使用し安心できる環境設定を行った。

関係機関との連携強化

D 関 係 機 関 連 携 強 化	児童発達支援	通年	児童発達児	通年	身近な地域の障がい児支援の専門事業として、通所利用の障がい児の受入れだけでなく、地域の障がい児・その家族を対象とした支援や保育所等の障がい児を預かる施設に対する援助を行う。	待機児童が保育所へ入所する際には、保育所と連携をし、段階的に移行を進めた。また、保育所等へ訪問し、集団生活へ適応するための直接支援や技術的助言を行った。
	家族支援	通年	全員対象	通年	不安をかかえている保護者に対する心理的なケアや家庭における療育方法の支援、利用者の兄弟に対する支援の促進など、家族を含めたトータルな支援を図っていく。	定期的な保護者との面談や、連絡帳にて心理的ケアや療育方法の支援を行った。また、児童発達支援では、子育てサポートセンターの保健師や心理担当職員と連携をしたり、保育所や幼稚園を訪問し、療育の方法について助言を行った。
	ケアマネジメント	随時	各関係者	随時	支援の切れ目が生じないように、各機関との連携を図る。	必要に応じて地区センターや学校、子育てサポートセンター、相談支援事業所と協力をし、支援会議を開催した。
	法人内連携	随時	法人内関係者	随時	相談支援事業を通し、本人や家族が必要としている制度の説明やサービス等を安心して利用できるような円滑化を図る。	個々に合わせた必要なサービスが提供できるよう、相談事業所や障害児通所支援と連携を行った。

地域力を高める

外食	5月・7月 8月・9月 12月・2月	一部利用者 (55名)	年6回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	児童発達支援の外食は主に、天真庵で行った。買い物を楽しみに待つ様子が感じられた。財布やエコバックを準備したりと、選択から支払いまでの一連の流れを学ぶことができた。
テイクアウト	7月・12月 3月	一部利用者 (43名)	年3回		
買い物	4月・9月 10月・2月	一部利用者 (34名)	年4回		
ボランティアの活用		全員対象		ボランティアの受入れを積極的に行うことにより、障害児通所支援の認知を広める。	今年度は、受入れがなかった。

社会貢献

実習生の受入れ	8月・9月 10月	全員対象	年2回	実習生を積極的に受入れ、障害児に対する支援や交流等を通し福祉人材の育成に貢献する。	社会福祉士2名の実習受け入れを行った。
高齢者との交流		全員対象		子供たちと高齢者とのつながりが希薄になっている状況において、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、子供たちが高齢者と触れ合い、高齢者から学んでいくことを目的とする。	祖父母と交流するきっかけになるよう、敬老の日に向けてカレンダー作りを行った。
地域の清掃活動	通年	全員対象	通年	近隣の公園や公共施設のゴミ拾い等を行い、地域の環境保全に協力する。	室外活動の際、公園でのゴミ拾いを実施し、公共のマナーについて学習する機会となった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和6年4月 ） 令和7年3月	a. 職員会議(毎月) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第3者との懇談会(7月・2月) e. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) f. 行事計画会議(随時) g. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和6年10月	・法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和6年5月	・福島県障害福祉サービス事業者ファシリテーター養成研修
	令和6年5月	・感染症対策勉強会
	令和6年7月	・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員
	令和6年8月	・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修
	令和6年9月	・令和6年度第1回障害児通所支援事業所連絡会
		・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者研修
	令和6年10月	・障害福祉サービス等の研修に係る意思決定支援ガイドライン
		・意思決定支援研修
	令和6年11月	・障がい児・者の防犯・避難講座～異常気象による災害に備える
令和6年12月	・令和6年度第2回障害児通所支援事業所連絡会	
令和7年3月	・令和6年度第3回障害児通所支援事業所連絡会	

その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	6月	いわき教育支援センター	就学に向けての説明会
	8月～10月	東日本国際大学	社会福祉士実習

令和6年度 活動内容実績

みによん

月	児童発達支援			放課後等デイサービス			総計	延人数		
	(幼)男子	(幼)女子	合計	(児)男子	(児)女子	合計		男子	女子	合計
開所日数										
4月(26)	12	4	16	26	5	31	47	240	80	320
5月(27)	14	4	18	25	5	30	48	252	71	323
6月(25)	15	4	19	26	5	31	50	256	66	322
7月(27)	15	3	18	24	5	29	47	256	73	329
8月(27)	14	3	17	24	5	29	46	223	61	284
9月(25)	15	2	17	25	5	30	47	237	67	304
10月(27)	15	2	17	25	5	30	47	260	58	318
11月(26)	15	3	18	23	5	28	46	238	66	304
12月(24)	15	3	18	23	5	28	46	223	67	290
1月(24)	16	3	19	24	5	29	48	233	69	302
2月(24)	16	3	19	23	5	28	47	229	62	291
3月(26)	16	3	19	22	5	27	46	241	72	313
合計	178	37	215	290	60	350	565	2888	812	3700

利用者数 (3月現在)

幼児	計	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
20	20	4	4	3	3	4	3	21

中学1	中学2	中学3	計	高等1	高等2	高等3	計
1	1	4	6	1	3	2	6

学校名

未就園	保育所	幼稚園	いわき支援	くぼた校	錦小	錦東小	泉北小	菊田小	聴覚支援	双葉北小
3	10	7	14	3	2	1	2	1	1	1
植田小	田人小	汐見ヶ丘小	双葉中	植田中	計					
4	1	1	1	1	53					

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	聴覚障害	その他	合計
24	3	17	1	8	53

手帳等級

療育A	療育B	身障2級	身障3級	手帳なし	合計
14	13	1	1	24	53

令和6年度 事業報告書

日中一時支援事業 みによん

生活支援に関する事業

実施事業名	実施月	実施状況		主な実施内容	結果
		参加人数	実施回数		
A 日中活動	室内活動	通年	全員対象	毎日 一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。 近隣の公園・公共の施設の外出を通して基礎体力と心身の健康の増進を図る。	宿題や製作活動、リズム遊びを楽しんでいた。毎月、行われるお誕生会では、集団で楽しむことができるゲームを楽しんだ。 近隣散策や公園遊びでは公の場所でのマナーを学んだり、運動遊びを取り入れ健康増進につながった。
	室外活動	通年	全員対象		

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和6年4月 ～ 令和7年3月	a. 職員会議(毎月) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第3者との懇談会(7月・2月) e. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) f. 行事計画会議(随時) g. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和6年10月	・法人内部監査

その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	6月	いわき教育支援センター	就学に向けての説明会
	8月～10月	東日本国際大学	社会福祉士実習

令和6年度 活動内容実績

日中一時支援事業 みによん

月	小学校男子	小学校女子	合計	中学校男子	中学校女子	合計	高校男子	高校女子	合計	成人男子	成人女子	合計	総計	延人数		
														男子	女子	合計
4月 (26)	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	2	1	3
5月 (27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月 (25)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月 (27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月 (27)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
9月 (25)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月 (27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月 (26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	2
12月 (24)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1
1月 (24)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1
2月 (24)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	2
3月 (26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	2	0	2	0	3	3	1	1	2	7	4	6	10

利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年
0	0	0	0	0	0	0

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	成人男子	成人女子	合計
1	0	0	0	0	1	1	1	4

学校名

未就学	保育所	幼稚園	いわき支援	くぼた校	成人男子	成人女子	合計
0	0	0	1	1	1	1	4

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	肢体不自由	その他	合計
2	0	2	0	0	4

手帳等級

療育A	療育B	合計
3	1	4